

NEWS RELEASE

2016 年 12 月 7 日

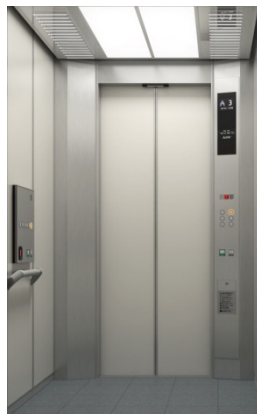
三菱電機株式会社

三菱電機ビルテクノサービス株式会社

工事期間中でもエレベーターが利用できる「ハイブリッド制御盤」を採用
三菱エレベーターリニューアル「Elemotion+ [ZERO]」発売のお知らせ

三菱電機株式会社と三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、リニューアル工事期間中でも工事のない時間帯はエレベーターが利用できる「ハイブリッド制御盤」※1を採用したエレベーターリニューアル向け新商品「Elemotion+ [ZERO] (エレモーション・プラス [ゼロ])」を 12 月 19 日に発売します。本商品は、「エコプロ 2016」(12 月 8 日～10 日、於：東京ビッグサイト)に出展します。

※1：2016 年 10 月 17 日広報発表



使えない日をゼロにしたエレベーターリニューアル
Elemotion+
エレモーション・プラス[ゼロ] **[ZERO]**

三菱エレベーターリニューアル「Elemotion+ [ZERO]」

新商品の特長

1. 「ハイブリッド制御盤」の採用により、工事期間中でもエレベーターが利用可能

- ・業界初※2、新旧双方の巻上機や操作盤を制御できる「ハイブリッド制御盤」を採用
- ・新旧の機器が混在する工事期間中でも、作業をしていない時間帯はエレベーターが利用でき、従来、約 1 週間必要であった連続休止期間のゼロ日化を実現

※2：2016 年 12 月 7 日現在（当社調べ）

2. ドアセンサーやバリアフリー仕様のかご室により、安全性と使いやすさを向上

- ・ドアの開閉動作を LED 表示灯で知らせる「ドアシグナル」と、赤外線センサーにより乗降時の挟まれを防止する「マルチビームドアセンサ」を標準装備
- ・かご操作盤の表示部に見やすく分かりやすいカラー液晶表示を採用
- ・ボタンが押された階ではドアがゆっくり閉まるかご内の「ゆっくりかご操作盤」と乗場の「ゆっくり乗場ボタン」をお年寄りやお子様にも押しやすい低い位置に設置

3. 最新機器の採用により、約 10%の省エネを実現

- ・巻上機や制御盤など最新機器へのリニューアルにより、消費電力を約 10%削減※3
- ・かご天井に LED 照明を標準採用し、従来の円形蛍光灯と比較して消費電力を約 50%削減

※3：三菱エレベーター「GRANDEE」との比較（定員 9 名・分速 60m・8 カ所停止）

発売の概要

商品名	リニューアル対象製品	販売価格	発売日
Elemotion+ [ZERO] (エレモーション・プラス[ゼロ])	三菱エレベーター 「GRANDEE (グランディ)」	1,200 万円 から※4	12 月 19 日

※4：定員 9 名・分速 60m・8 カ所停止の場合の参考価格（建築工事、付帯費用他を除く）

報道関係からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 広報部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 広報室
〒116-0002 東京都荒川区荒川七丁目19番1号
TEL 03-5810-5280 FAX 03-5810-5277

発売の狙い

現在、国内には約 72 万台のエレベーターが設置されています。そのうち、設置から 25 年が経過し、リニューアルの時期を迎えた当社製エレベーターは約 5 万台あり、2020 年度には約 9 万台となる見込みです。

三菱電機と三菱電機ビルテクノサービスは、2001 年に、業界に先駆けてロープ式エレベーターのリニューアル専用エレベーター「ELEMOTION® (エレモーション)」を共同で開発し、三菱エレベーターリニューアル「Elemotion+ (エレモーション・プラス®)」、三菱油圧エレベーターリニューアル「EleFine (エレ・ファイン®)」などの商品でリニューアル事業を展開してきました。

これまで、リニューアル工事の際には、全ての工事が完了するまでエレベーターを長期間停める必要がありました。今回、この問題を解決するために、工事期間中でもエレベーターが利用できる「ハイブリッド制御盤」を採用した「Elemotion+ [ZERO]」を発売します。リニューアル時期を迎える 1990～1997 年頃に製造した三菱エレベーター「GRANDEE (グランディ)」約 2 万 5 千台が対象※5で、今後、さらに対象機種を拡大する予定です。

※5：仕様により、対応できない場合があります。

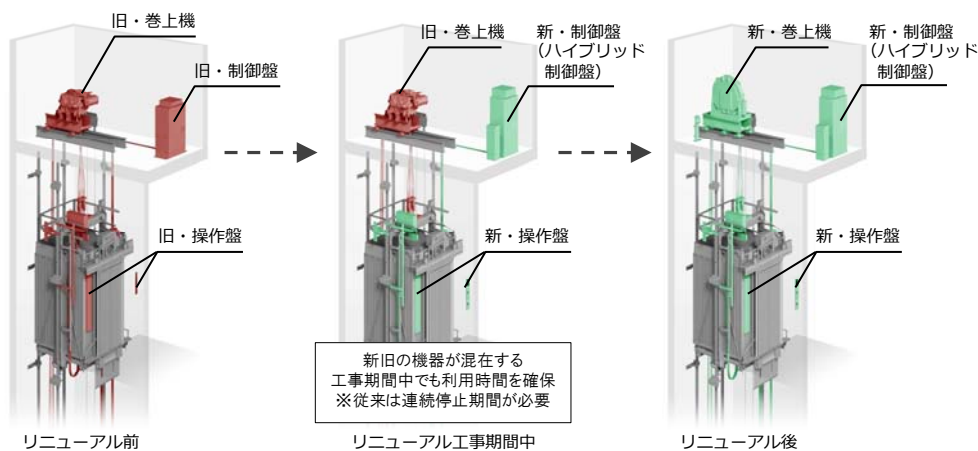


対象機種「GRANDEE」のかご操作盤

特長の詳細

1. 「ハイブリッド制御盤」の採用により、工事期間中でもエレベーターが利用可能

既設機器とリニューアル後の機器の双方を制御できる専用の制御盤「ハイブリッド制御盤」により、リニューアル工事期間中でも作業をしていない時間帯はエレベーターを利用することができます。例えば、マンションでは通勤や通学などの利用者が多い朝晩の時間帯、飲食テナントビルでは夕方・夜の営業時間帯にエレベーターの利用を可能にします。また、病院などエレベーターの連続休止期間を設けるのが難しい施設や、事務所ビルなどでは、工事を利用者の少ない曜日に分散することで、利用者の不便を軽減します。



…たとえば、曜日、時間帯を限定して工事をすることも



リニューアル工事中のエレベーター利用イメージ

2. ドアセンサーやバリアフリー仕様のかご室により、安全性と使いやすさを向上

(1) ドアシグナル

かご内の出入口上部に設けられた LED 表示灯がドアの開閉動作前と戸閉動作中に赤く点滅し、ドアの動きをわかりやすく知らせます。

(2) マルチビームドアセンサ

エレベーターの出入口全面に設けた赤外線が人や荷物を検知し、閉じかけたドアをすみやかに開きます。

(3) カラー液晶表示

かご操作盤の表示部に 5.7 インチの TFT カラー液晶表示を採用しました。視認性の高い書体と矢印のアニメーションがエレベーターの動きを分かりやすく伝えます。

(4) ゆっくりかご操作盤

一般のかご操作盤とは別に、お年寄りやお子様でも操作しやすい低い位置に設置しました。このボタンを押した時は、ドアがゆっくり閉まるので、安心して降りることができます。

(5) ゆっくり乗場ボタン

一般の乗場ボタンとは別に、お年寄りやお子様にも手が届きやすい位置にボタンを設置しました。このボタンを押した時は、ドアがゆっくり閉まるので、安心して乗ることができます。

(6) かご内手すり

「ゆっくりかご操作盤」の下部に手すりを設置することで、ボタンを操作する際に体を支えることができます。

(7) かご内鏡

かごの正面壁に鏡を設置することで、ベビーカーやカートなどを利用する際に、後ろ向きでも乗降部を確認しながら降りることができます。



3. 最新機器の採用により、約 10%の省エネを実現

- (1) 永久磁石モーターを採用したギアレス巻上機や最新の制御機器へのリニューアルにより、高い走行性能と省エネを実現します。
- (2) かご天井に LED 照明を標準採用することにより、従来の円形蛍光灯と比べて約 50%の消費電力削減と約 3.3 倍の長寿命を実現するほか、発光面積が約 50%アップします。

商標関連

- ・ ELEMOTION®は三菱電機（株）および三菱電機ビルテクノサービス（株）の登録商標です。
- ・ エレモーション・プラス®、エレ・ファイン®は、三菱電機ビルテクノサービス（株）の登録商標です。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 昇降機保守事業本部
〒116-0002 東京都荒川区荒川七丁目 19 番 1 号
TEL 03-3802-9532